

『みんなで学ぼう！トラックと交通安全・環境フェア』
子供たちへの環境教育の取り組み

一般社団法人 愛知県トラック協会

一般社団法人 愛知県トラック協会

所在地： 愛知県名古屋市瑞穂区新開町1 2番6号
代表者： 会長 小幡 銀伸
職員数： 59名（常任理事・常勤理事を含む）
URL： <http://www.aitokyo.jp/index.html>

1 事業の概要

一般社団法人愛知県トラック協会（以後、愛ト協）は、愛知県内のトラック運送事業者が相互信頼のもとに団結を強め、業界の発展と公共の福祉に寄与することを目的として設立された公益法人です。現在の会員数は2,508社（平成28年5月現在）で、会員各社の緑ナンバーのトラックは約72,623両（平成28年3月末現在）あります。協会の事業として安全運行の確保、環境対策、交通事故防止、災害時の緊急輸送などに積極的に取り組み、また会員事業者からの各種相談に応じています。

2 環境への取り組み

愛知県トラック協会では、全日本トラック協会及び地方公共団体と連携のもとに最新排出ガス規制適合車への代替、低公害車の普及促進に努めています。また、エコドライブの推進を目的に開催している『省エネ走行競技会』は今年5回目を数え、年々競技レベルが上がってきています。この他、省エネ運転やグリーン経営認証取得に関する研修会も開催しています。

3 J-クレジット活用手法

愛ト協では毎年秋に、交通安全や環境対策について親子が楽しく学べるイベント『みんなで学ぼう！トラックと交通安全・環境フェア』を開催しています。平成28年はイベント会場までのシャトルバスの運行、ならびにイベントで出たゴミ処理において排出される温室効果ガス2tを中部産CO2クレジットの活用でカーボン・オフセットをしました。

4 取組の感想

当初、交通安全のイベントにおいてカーボン・オフセットをどのように来場者に訴求していくのかという点でイメージがつきにくかったのですが、ソフト支援機関よりイベントの趣旨を踏まえたご提案を頂き、活用・展開のイメージが大きく広がりました。

5 制度活用による効果

イベントでは、個々の環境対策の紹介を通じてカーボン・オフセットの仕組みに触れていただきました。これにより参加した子どもたちには、地球環境と人間の営みについて、感じとってもらえたのではないかと思います。“みんなで学ぶ”環境フェアとしての側面が、より強く訴求できたのではないのでしょうか。

6 活用イメージ



第12回目となる今年は、10月2日（日）豊田スタジアムで開かれ、小学生とその保護者を中心に約3万人が来場しました。



J-クレジット活用量 2tCO₂